

『シームレスで使いやすい和歌山市公共交通体系の実現に向けた研究会Ⅲ』事業報告

研究会代表 辻本 勝久
【和歌山大学経済学部教授】

1. 概要

本研究では、昨年度に実施した「シームレスで使いやすい和歌山市公共交通体系の実現に向けた研究」を発展させ、「SDGs 未来都市の実現に向け、「和歌山市版 MaaS」の展開を中心に、すべての公共交通関連サービスのシームレス化にチャレンジする」を共通目標として、5回の研究会を開催した。

研究会はすべて Teams での開催としたが、和歌山地域経済研究機構のほか、鉄道3社（JR西日本、南海電鉄、和歌山電鐵）、和歌山バス、タクシー事業者（ユタカ交通、相互タクシー）、和歌山県と和歌山市の関係部署、和歌山市観光協会、和歌山運輸支局、トヨタカローラ和歌山、三井住友海上、全日本空輸、トヨタコネクティッド、glafit などからの参加もあった。参加者数は延べ163名に及び、非常に盛況であった。

年度内に「和歌山市 MaaS 協議会」を設立することもでき、実り多い一年であった。

2. 研究会の開催状況

7 / 2 Teams で開催 参加者 37名

- ・小田急電鉄株式会社 古賀氏「小田急の取り組む MaaS」
- ・Uber Japan 株式会社 西村氏「Uber の新しいサービスや、自治体との連携事例、タクシー事業の今後の改革方向」

10 / 2 Teams で開催 参加者 33名

- ・glafi 株式会社 鳴海氏「小型電動モビリティの社会実装～二刀流バイクの事例～」
- ・トヨタカローラ和歌山株式会社 横山氏「和歌山 MaaS 協議会（仮称）の立ち上げについて」
- ・和歌山県観光交流課 橋本氏「和歌山県における MaaS 試行事例である KiiPass Koyasan（キーパス高野山）について」

12 / 22 Teams で開催 参加者 33名

- ・和歌山大学 辻本「KiiPass Koyasan の現地調査と和歌山市への応用方向について」

2 / 2 Teams で開催 参加者 24名

- ・東洋大学経済学部 川野氏「デジタル時代の地方都市とモビリティ」

2 / 14 Teams で開催 参加者 36 名

- ・トヨタカローラ和歌山株式会社 横山氏ほか「和歌山 MaaS 協議会（仮称）説明会」
- ・トヨタコネクティッド株式会社 藤原氏「メーカーフリーシェアリングプラットフォーム」

3 / 30 和歌山市 MaaS 協議会の設立

3. メンバー：

辻本 勝久（代表）和歌山大学経済学部教授
足立 基浩 和歌山大学経済学部教授
藤田 和史 和歌山大学経済学部准教授
上野 美咲 和歌山大学経済学部講師
宋 謙 和歌山大学経済学部教育研究支援員
中西 望 和歌山社会経済研究所研究委員
長谷川 強 和歌山社会経済研究所主任研究員
前島 昇平 和歌山商工会議所運輸倉庫業部会担当

事務局：

宋 謙 和歌山大学経済学部教育研究支援員

4. ホームページ公表

<http://web.wakayama-u.ac.jp/eco/wtkkk/kengai-20.html>